

ヨコハマ創造都市センター(旧第一銀行横浜支店) 次期運営団体が決定しました

- 横浜市は、港や歴史的建造物などの地域資源を活かしながら、文化芸術の創造活動等により魅力的な都市をつくることを目的とした創造都市施策を推進しています。
- この事業のひとつとして、平成 21 年度より旧第一銀行横浜支店を「ヨコハマ創造都市センター」として活用、アーティスト・クリエイターの集積、創造的なまちづくりを進めてきました。
- 今回、本施設のさらなる活性化を目指し、次期運営団体を公募したところ 6 者から応募があり、本市附属機関による選考の結果、**新たに「(仮称)クリエイティブ・ポート(グループ名)」を次期(平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日)運営団体として決定**しました。

1 次期運営団体

グループ名称	(仮称)クリエイティブ・ポート
構成団体	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社トーンアンドマター ・オフソサエティ株式会社 ・デザイニト株式会社 ・一般財団法人セゾン現代美術館
その他	運営開始までに NPO 法人を設立予定



2 実施される事業(予定) ※応募書類より抜粋

- (1) 誰もが気軽に集い、新しい可能性に出会える場
 - ・デザイン・什器などを変え、絵画を鑑賞しながら喫茶・食事が楽しめる カフェギャラリー・ショップ
 - ・ コワーキングスペース
 - ・学生・デザイナーとともに D I Y でつくる ライブラリーラウンジ
 などの新設
- (2) 市内のリソース(人、産業や情報)を集約し、コラボレーションを仕掛ける
 - ・ **【クリエイティブ産業育成支援】**：市内の実績ある企業と、集積が進んだクリエイターのコラボレーションをコーディネートしビジネスに新しい付加価値を生み出すための拠点
 - ・建築家・ディベロッパーなどの多岐に渡るメンバーで構成される まちづくりラボ
- (3) 人々のクリエイティビティを誘発し社会的な課題に挑む
 - ・ **【ファブ・シティ】**：ファブラボを活用した市民との家具づくりプロジェクト
 - ・ **【みんなのためのデザイン】**：ハンディキャップのある様々な人々を対象にデザインの力で新しい未来を形づくる新しい視点を広げるためのカンファレンス・展示会
 - ・セゾン現代美術館の所蔵する作品を使った 絵画鑑賞教室
 などの各種プログラム

(参 考)

1 本施設の概要

施設名称：ヨコハマ創造都市センター（旧第一銀行横浜支店）

所在地：横浜市中区本町6丁目50-1

<これまでの経緯>

昭和4（1929）年	第一銀行横浜支店として創建
昭和55（1980）年	横浜銀行本店別館として使用
平成15（2003）年	・移築復元一部曳家 ・横浜市認定歴史的建造物に認定
平成16（2004）年	NPO法人BankART1929がBankART1929 Yokohamaとして運営開始
平成21（2009）年	（公財）横浜市芸術文化振興財団がヨコハマ創造都市センターとして運営開始

2 選考方法

公募型プロポーザル方式による選考を行い、本市附属機関である「旧第一銀行横浜支店（ヨコハマ創造都市センター）事業評価及び運営団体選考分科会分科会」が書類審査、公開プレゼンテーション・ヒアリング審査を実施しました。最も高い評価（得点）を獲得した応募者を、次期運営団体として選考しました。

[選考分科会委員]（敬称略）

議長 若林 朋子（プロジェクト・コーディネーター）
今野 直子（サンケイリビング新聞社 編集長）
遠藤 新（工学院大学 准教授）
小泉 雅生（首都大学東京大学院 教授）
林 容子（一般社団法人アーツアライブ 代表理事）
六川 勝仁（馬車道商店街協同組合 理事長）

3 選考経過・今後のスケジュール

公募要項の配布開始	平成26年7月10日
応募書類の受付	平成26年9月9日～10日
一次選考（書類選考）	平成26年10月9日
二次選考（プレゼンテーション・ヒアリング）	平成26年10月30日
選考結果の公表	平成26年12月
協定・契約などの事務手続き	平成27年1月～3月
運営開始	平成27年4月1日～

※開館日は今後調整予定

※ 公募の経過及び評価結果については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/news/ycc-koubo.html>

問合せ先

文化観光局創造都市推進課 担当課長 大蔭直子 Tel 045-671-2277